

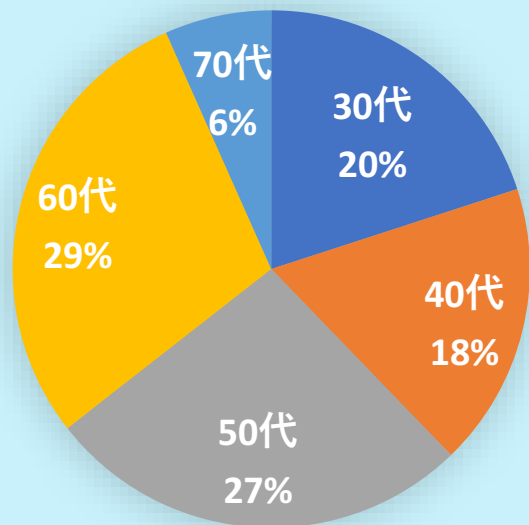
川合地区 防災意識調査

H29.10月度川合町定例会にて

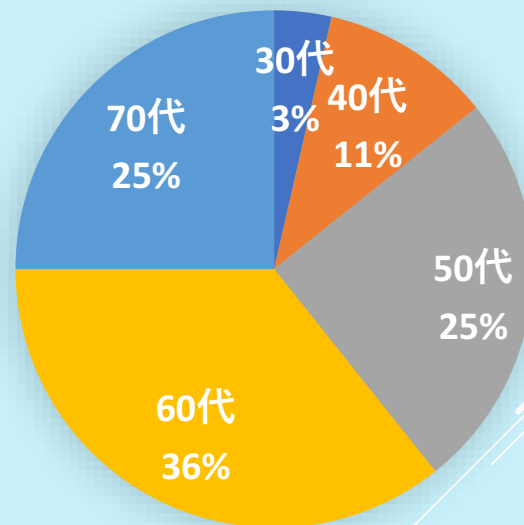
組長・役員等、73人に防災に関するアンケート実施

【回答者属性】

女性（45名）

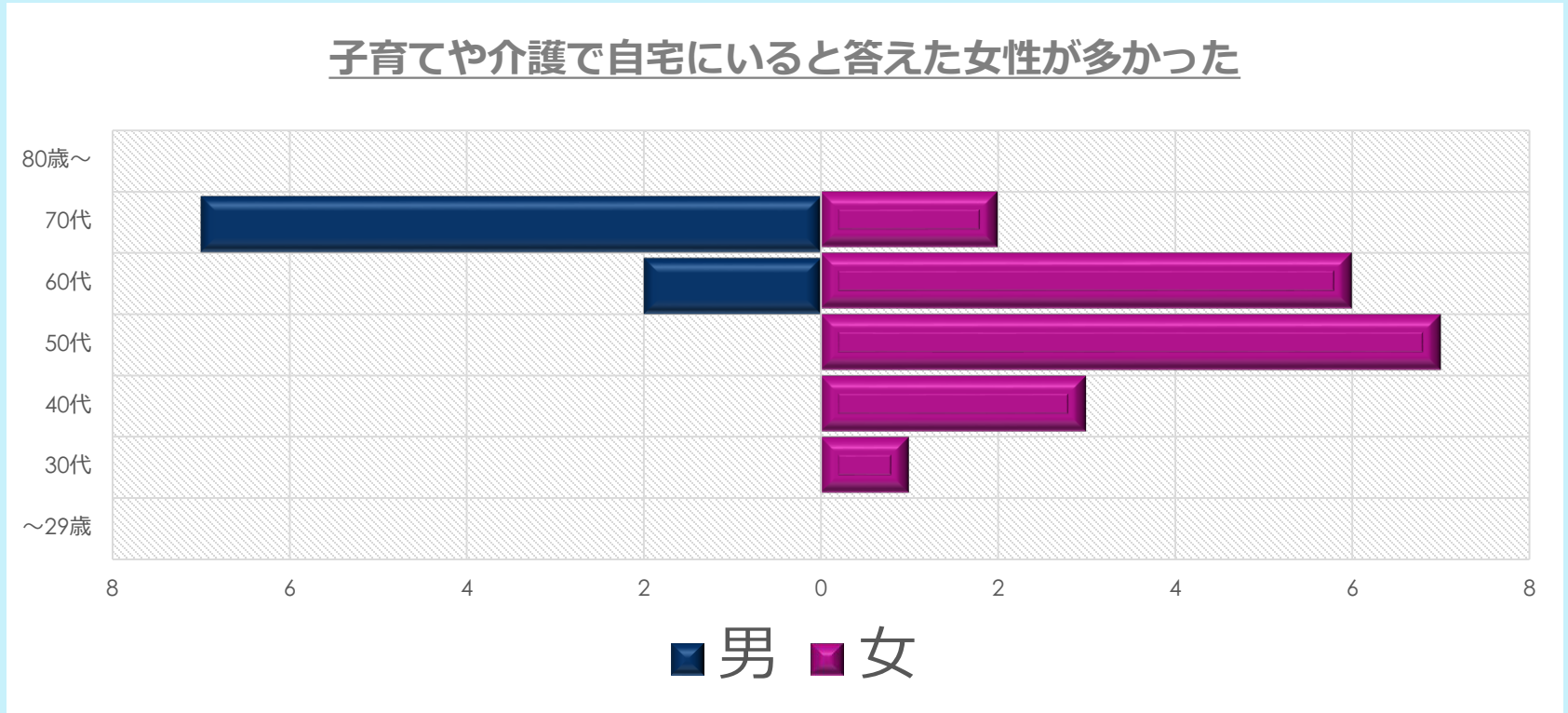


男性（28名）



川合地区 防災意識調査

【平日9：00～17：00自宅にいる人】

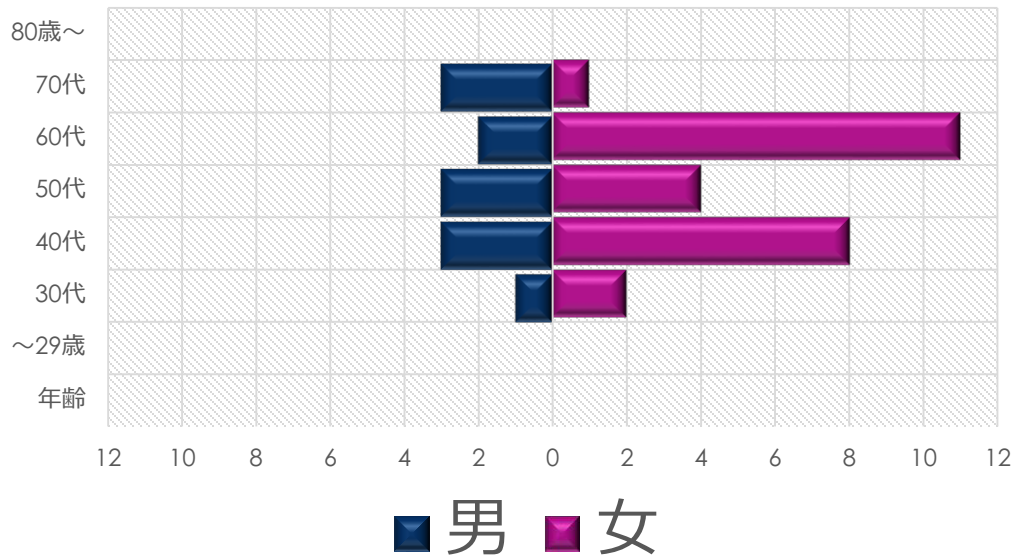


73人中28人が自宅にいると回答

昼間災害が起きた時、60代以下の女性が協力しあう必要がある。
そのためには女性も災害に対する**備えと知識**が必要！

Q.防災倉庫の中身を知っていますか

女性の6割が知らないと答えた



水や食料の備蓄が倉庫にあると勘違いしている方も

防災倉庫の場所は今年度1ヶ所から3ヶ所へ
倉庫の中身はポンプなどの機械、用具、テントなど

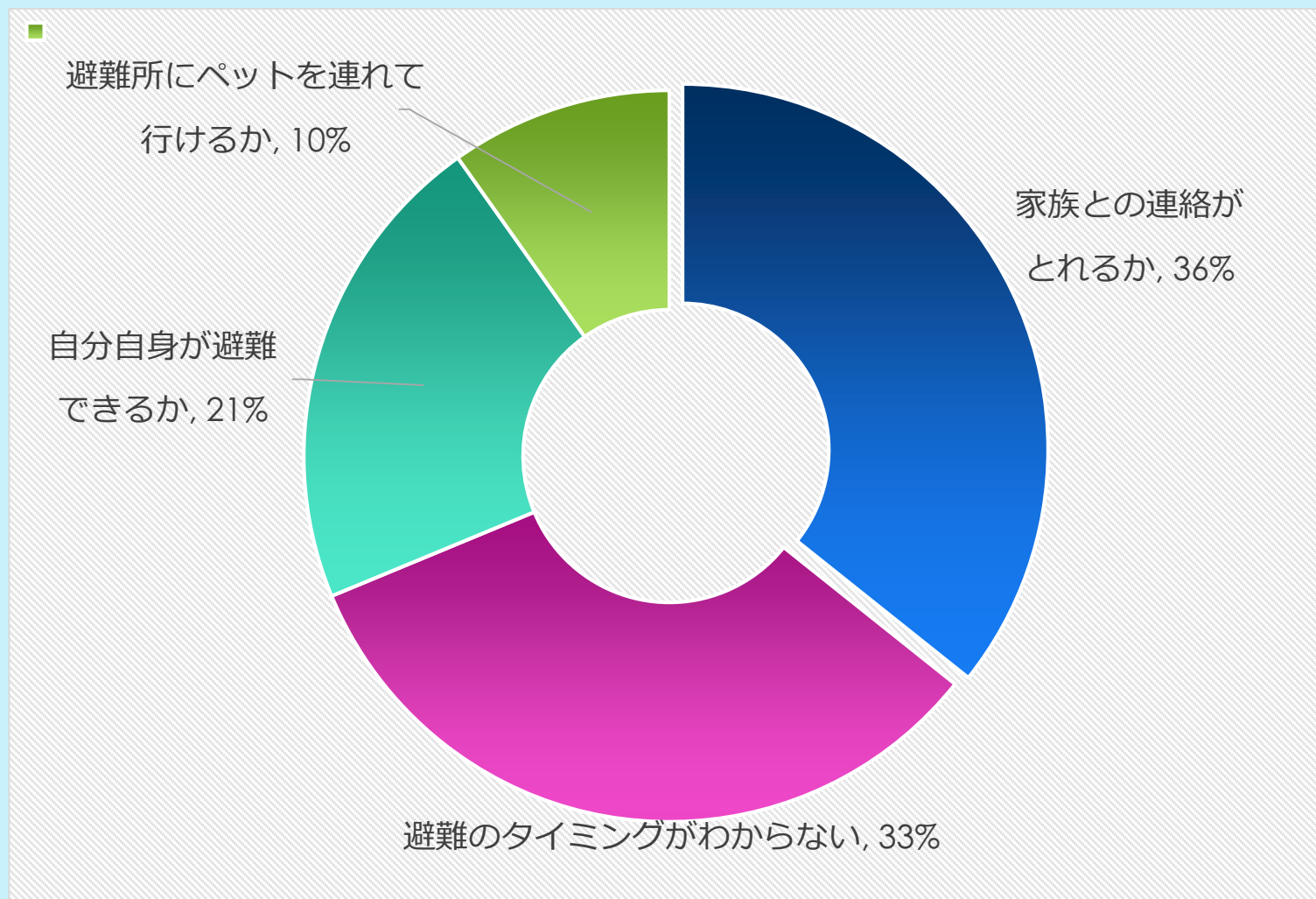
避難所にある、毛布、食料、水、医薬品などは最低限の備蓄しかない

73人中38人が防災倉庫の中身を知らないと回答

現状は、水、食料、介護や女性、子供用品などの備蓄は家庭で準備が必要

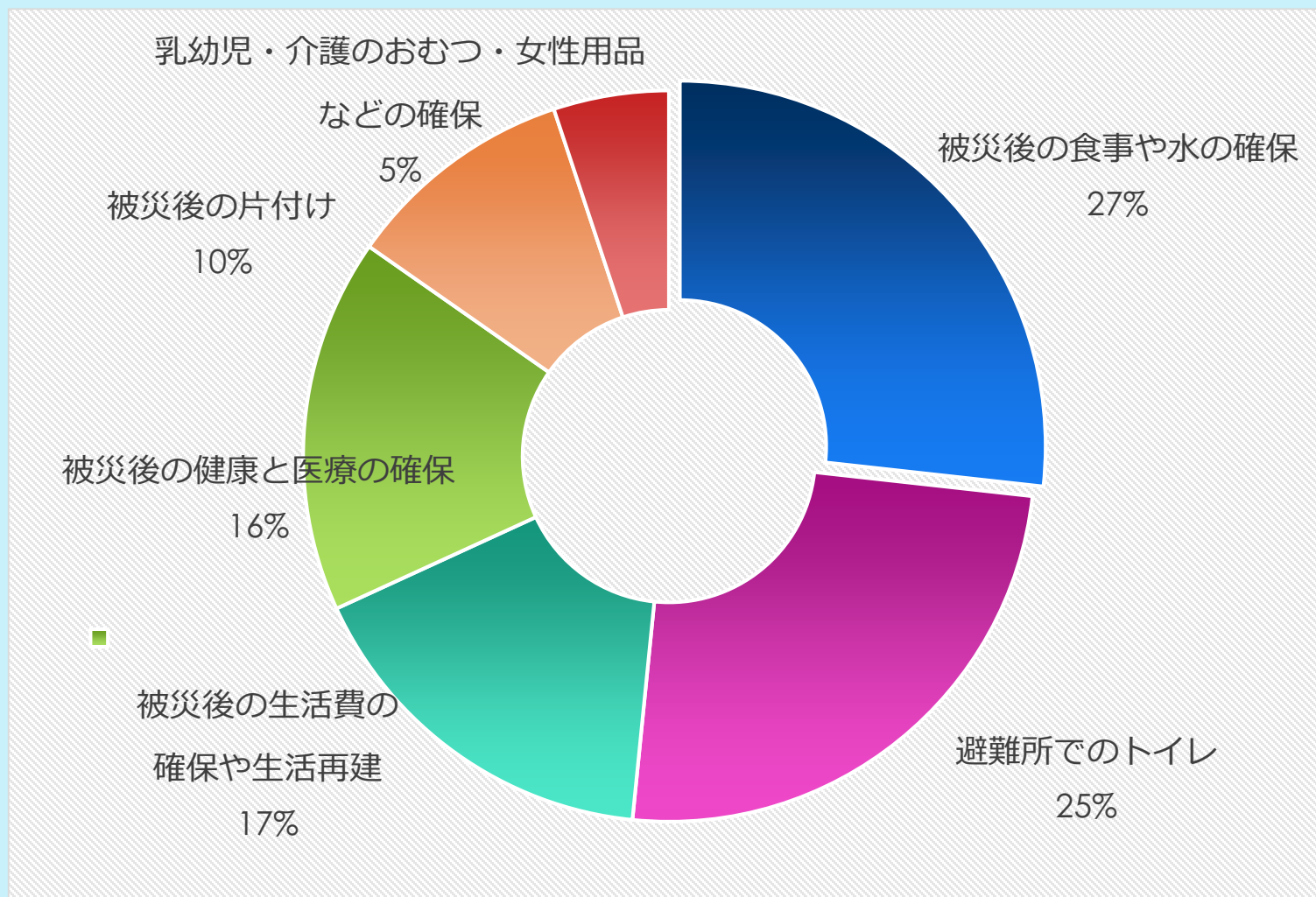
倉庫の中身は男女で話し合っていると良い

Q.災害直後不安な事はなんですか



災害直後は、自身や家族の**安全確保**が最優先

Q.災害後の生活で不安な事はなんですか



応急救護、物資等の情報収集など
普段の繋がりが重要

チーム川合がやってみたこと① 視察・勉強会へ参加



H29.9
若松町町内会

住民図、防災施設図を町内で作成
地域のスーパーと防災協定

H29.9
袋井
もうひとつの家

困った人と助ける人をマッチング
「周」という地域通貨を使い、
気兼ねのない助け合い

H29.10
女性防災
リーダー養成講座

現場における多様なニーズ
最新トイレトレーラー
防災講演会で安政と明応など
過去現在未来の東海地震について
学ぶ

H29.11
駿河区女性防災

防災アドバイザー岡部梨恵子氏の講演会
今すぐ使える防災グッズの紹介
ポリ袋で作る非常食

H29.12
地域の防災
女子カパワー
アップ講座

地域防災において男女共に支
え合い活動をする体験講座
避難所運営ゲーム
防災レシピ調理

平成29年度
女性のための
防災・減災
リーダー
養成講座

参加者
募集

近年、東日本大震災を初めとする関東・東北豪雨や熊本地震など大きな自然
災害が立て続けに発生しています。自分や家族の命を守り、地域や企業等で
活動・協働するために女性が積極的に防災・減災に参加する必要があります。
この養成講座は防災・減災の基本的知識を学び、自信を持って防災・減災の場で活躍し
ていただくことを目的としています。

募集要項

開催日 平成29年 9月30日、10月1日

会場 佐倉公民館（さくらんぼホール）
（静岡県静岡市清水区17番地1）

対象者 中学生以上の女性（男性可）

参加費 1,000円（2日分資料代）

募集人数 120人定員になり次第締め切り
- 締切り9月20日まで

受講条件 2日間の受講を原則（1日でも受講可能 認定書は2日間受講書）

交通 お 車：東名駿川インターより28分 東名相良、牧之原インターより30分
（ナビ用電話番号 0537-86-2304）
電車・バス：JR東海道線駿川駅下車（静岡海産物川原心公園）→静岡ソフトライン駿川駅
より西取を東下り徒歩10分程度又はご自宅から

申込方法 裏面の申込書に必要事項を記入の上FAX、郵送、メール（件名に女性防災講座と
記入）にてお申し込みください。申込み確認送付をいたします。

●主催：特定非営利活動法人 静岡地災害支援ネットワーク
協賛：静岡県庁 静岡市 清水市 高島市 藤枝市 掛川市 浜松市 豊田市 浜北市 浜南市 浜中町 浜岡町
静岡市 東静岡区社会福祉センター 東静岡区社会福祉センター 東静岡区社会福祉センター 東静岡区社会福祉センター
静岡市 静岡市社会福祉センター 静岡市社会福祉センター 静岡市社会福祉センター 静岡市社会福祉センター
静岡市 静岡市社会福祉センター 静岡市社会福祉センター 静岡市社会福祉センター 静岡市社会福祉センター

中心員は責任を以て記す



チーム川合がやってみたこと②

子育てママのための防災講座の開催 普段の繋がり 顔の見える関係になる為に



地域のボランティアさんも参加

11月8日（水）

「子育てサロン☆たんぽぽ」にて
講演「ママバッグに防災の意識はありますか」
（講師：女性会館館長川村美智さん）

コンビニ袋で作る簡易オムツを作り方
（講師：メンバー芦口・池田・三原）

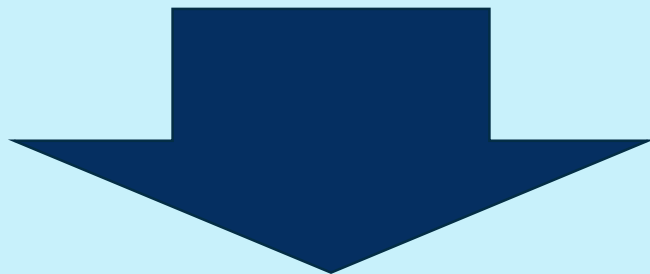
<ママ達から感想>

- ママバッグの中身を意識して、防災に備えたいです
- お話がとてもためになりました機会があったらまた参加したいです
- とてもわかりやすかったです家でもオムツ作ってみます

私たちの提案

平日の昼間、在宅率の高い女性こそ倉庫の場所や中身等を理解し共有したい
そして、防災に対する意識を底上げしたい！

まずは、昼間いる女性たちが集まって顔の見える交流をすることが、いざと言う時の助け合いに繋がるのではないかと



- ☆ 女性目線の防災講座を開く
 - 「平日昼間に被災したら」の避難訓練
 - 家庭で出来る備蓄品の準備、防災グッズの紹介
 - 防災レシピ調理の実践